

## 第 2 学年 技術・家庭科（家庭分野） 年間学習計画

学習目標：実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

	単元・題材	学習内容	学習のポイント
前期	わたしたちの食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事のとり方</li> <li>・ 食品と栄養素のかかわり</li> <li>・ 栄養素のはたらき</li>   <li>・ 水のはたらき</li>   <li>・ 何をどのくらい食べたらよいか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活の中で食事が果たす役割がわかる。</li> <li>・ 栄養的にバランスのよい食事をするための大切さが理解できる。1-(1)</li>   <li>・ 栄養素の種類とはたらき、体内での水のはたらきをまとめることができる。</li> <li>・ 中学生の栄養所要量の特徴がわかる。</li> <li>・ 食品を6つの食品群に分けることができる。</li> <li>・ 食品群別摂取量のめやすを知り、1日に何をどのくらい食べればよいかを考えることができる。</li> </ul>
後期	わたしたちの食品の選択と調理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品の選び方</li>   <li>・ 保存食をつくる</li> <li>・ 食事づくりに挑戦しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生鮮食品の良否を見分けることができる。</li> <li>・ 加工食品の表示や食品添加物の意味を理解して、適切に選ぶことができる。</li> <li>・ 保存食の作ることができる</li>   <li>・ 調理の手順や計画を立てることができる。</li> <li>・ 安全・衛生を考えた身じたくができる。</li> <li>・ 肉・魚・野菜の調理上の性質を知り、簡単な日常食の調理ができる。</li> <li>・ 安全に気をつけ、協力して能率よく作業することができる。1-(3)</li> <li>・ 実習の反省ができる。</li> </ul>
	わたしたちのより豊かな食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土料理調べと実践</li> <li>・ 食事のマナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土料理について調べ、調理することができる。</li> <li>・ 洋食・和食のマナーを知り、生活に役立てることができる。</li> </ul>

### 評価の観点・評価方法

食生活に関心をもち、生活をよりよくするために意欲的に学習活動に取り組む。

（活動状況の観察・ノート・学習プリント・自己評価）

### 自己評価

食生活について見直し、自分なりに課題を解決するための工夫ができる。（実技・定期テスト・ノート・学習プリント）

食生活に関する基礎的な技能を身につけ、作業をすることができる。（活動状況の観察・実技テスト・自己評価）

### 評価

食生活に関する基礎的な知識を身につけている。

（ノート・学習プリント・定期テスト）